

第4回 住生活基本計画策定委員会 議事要旨

日時 : 平成 22 年 3 月 25 日 (木) 10 : 00 ~ 12 : 10

場所 : 松戸市衛生会館 3 F 会議室

議題 中間報告について

～全体～

- ・ 図番号を入れていったほうが良い。
- ・ 全体的に「住宅」に偏っており、「災害や防犯の対応」など生活環境という観点で整理をして、住生活をアピールしていただきたい。

～第1章～

- ・ 背景などを踏まえて目的を書き込めると良い。
- ・ 計画の関連図をどれが上位なのかなど、明確になるよう修正をしてもらいたい。

～第2章～

- ・ 松戸市の位置で使用している図と写真は変えたほうが良い。
- ・ 純移動数の詳細な出入りの状況も整理できると良い。
- ・ 近隣市との比較データで、対象が変わっているが、幅広くとっていったほうが良い。
- ・ 空き家は、補修などで 10%程度は出るものであるが、松戸市は多く、独自の傾向を示している。
- ・ 住宅土地統計調査の H15 と H20 の比較ができるように工夫したほうが良い。
- ・ セーフティネットの対象者にホームレスも加えてもらいたい。また、「これに入っていない人も、困窮者については対象として考える」といった文言を追加したほうが良い。
- ・ 意識調査の概要を追加したほうが良い。
- ・ 意識調査結果で、小さな%の変化についても表現しているが、統計学的にはそれについて言い切りの表現とするのはどうか。
⇒市で経年的にみている調査であり、不満の人の割合が減っているという傾向はみられると考えている。
- ・ さらに、属性別で転出理由が取れると良い。

- ・転入理由もあれば良い。

～第3章～

- ・県の総合計画が新しくなるので、それに変わっていただいたい。
- ・市総合計画の概要として、想定人口や世帯数などの基本情報も載せたほうが良い。
- ・既往住マスの評価が必要ではないか。
- ・新たな社会的背景として、共生社会に向けた方向性というものも表現できると良い。

～第5章～

- ・既存ストックの耐震化を掲げているが、共同住宅借家に対してどうやって取り組んでいくかが重要である。
- ・市街化区域内農地の保全というのは、現実としてやっていくのは難しい。
- ・「あんしん賃貸支援事業の普及・活用」とあるが、その内容を具体的にできると協力しようという業者も増えると思う。
- ・需要結果と、方針としての戸数の関係が分かりづらいので、もう少し書き加える必要がある。
- ・八期五計は、ストックベースでの算定式なので、入れ替えをみると論理破綻する。
- ・新規での民借率 38.1%としているが、もっと大きくみるべきである。
- ・精神障害者などは、病院から民借という流れもある。
⇒財政面などから戸数を増やすのは難しい。

～第6章～

- ・目標と対応した成果指標の設定が必要ではないか。